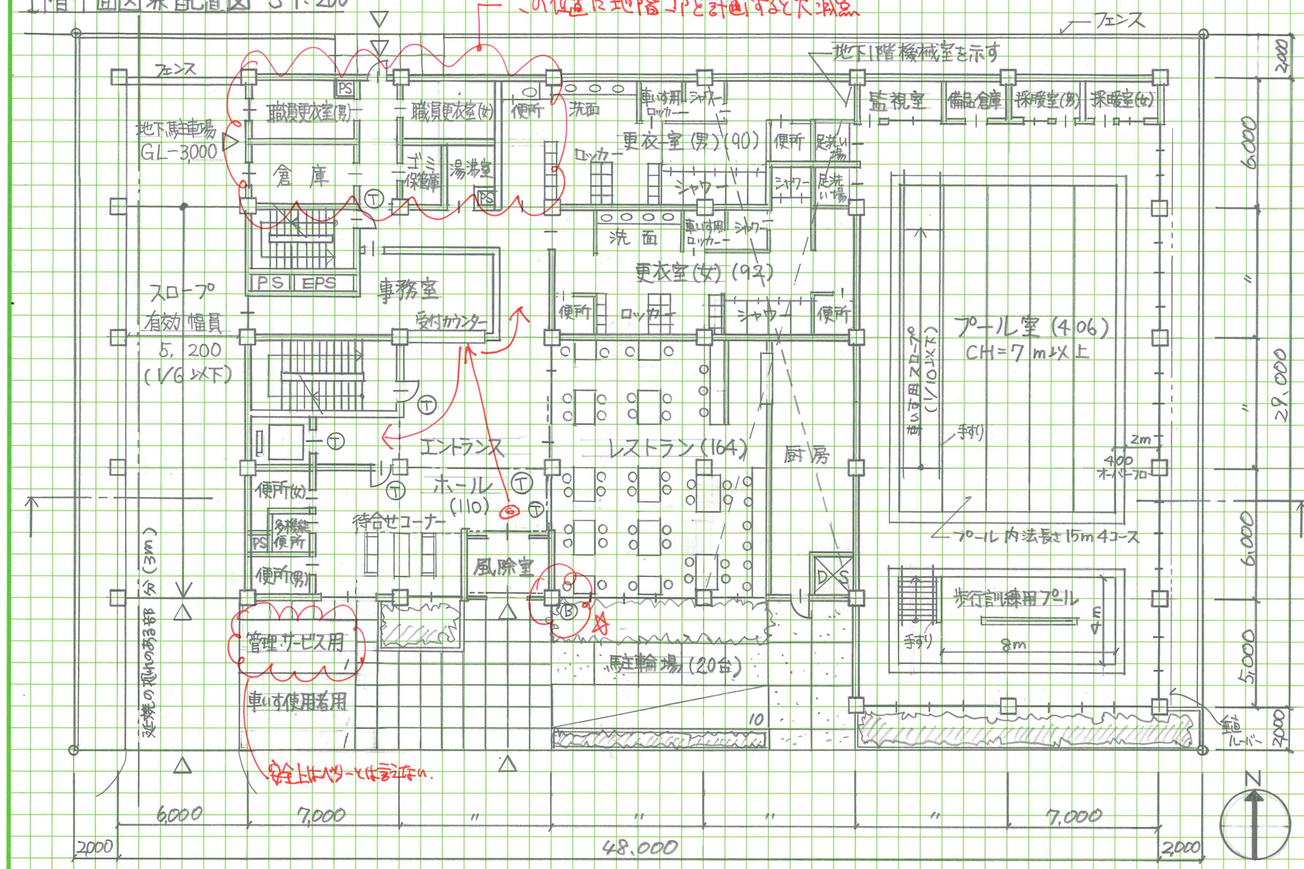
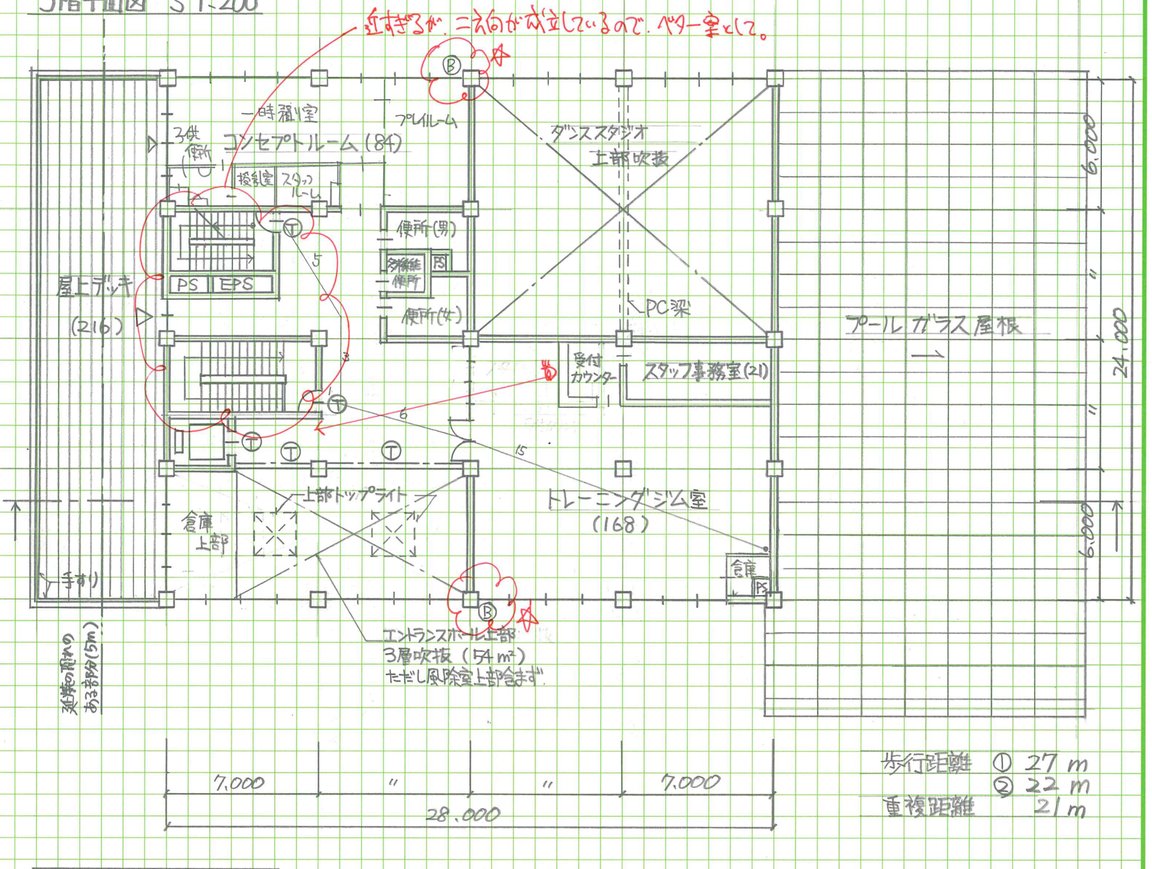
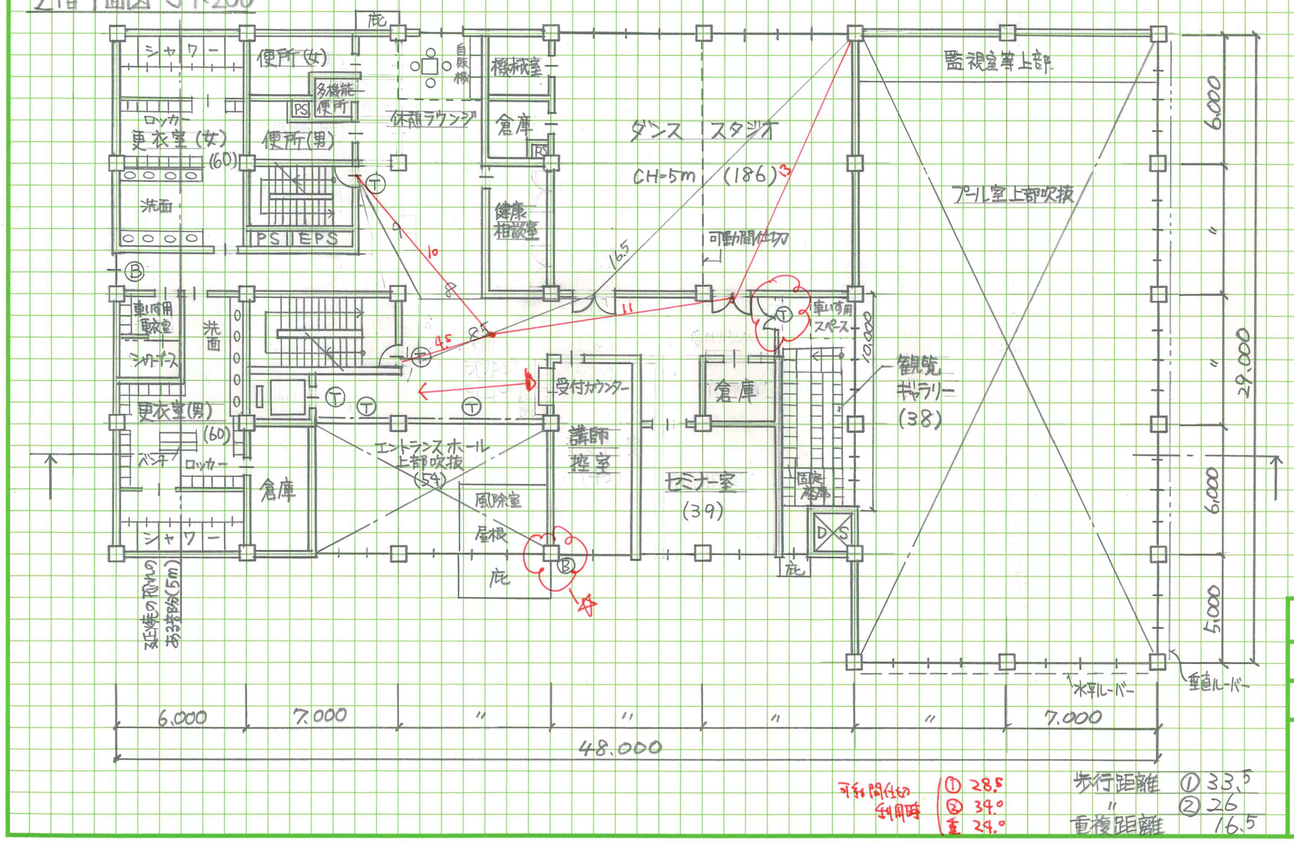
1階平面図兼配置図 S 1:200



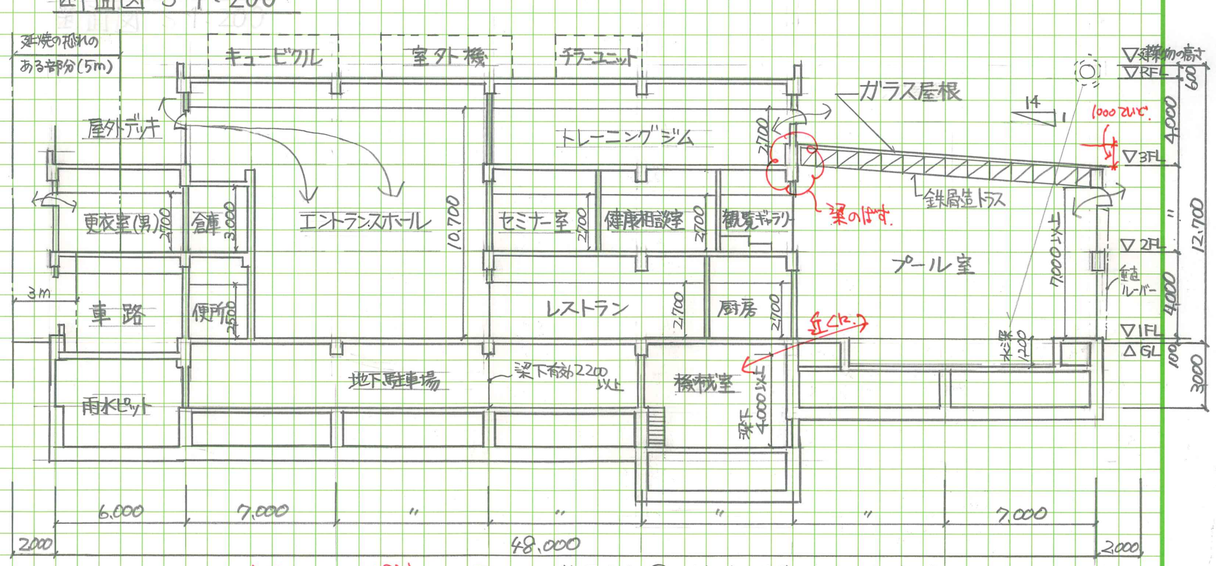
3階平面図 S 1:200



2階平面図 S 1:200



断面図 S 1:200



※防火区画の外壁部分の区画

※凡例 Ⓣ 特定防火設備 Ⓑ 防火設備

面積表（算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第１位までとし、第２位以下は切り捨てる。）					
建築面積		（算定式） 48×24＋14×5＋4×1	1,226 ㎡		
建ぺい率		（算定式） 1,226 ÷（52×33）	71.4 %		
床面積	1 階	（算定式） 42×24＋14×5	＝1,078	合計 2,248 ㎡	
	2 階	（算定式） 34×24－11×6	＝750		
	3 階	（算定式） 14×18＋14×12	＝420		

製図試験.com 答案用紙Ⅰ

所感: ver.1008修正
1) トレーニングジム室内 DS まちがいで廊に
2) 1F床面スロープ抜

エスキース 分 / 要点 分 / 作図 分

提出 / 枚数 1 / 製図試験

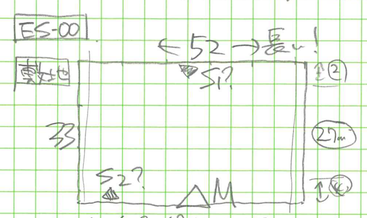
添削 / 講師名 シンクロニ 模試

ID Z30000

ハンドルネーム Okatsuan

h30 シンクロ模試 解題 by zone

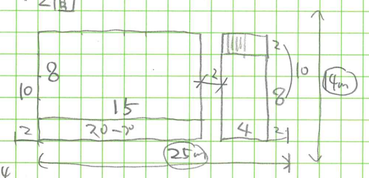
ES-00

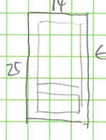


6×8=48+2+2→8スパンで。

室 40㎡余っぽい。50可。

プール ・ガラスヤネ! ③ 更衣 一体か分り不明。 ④
・400㎡以上
・2面





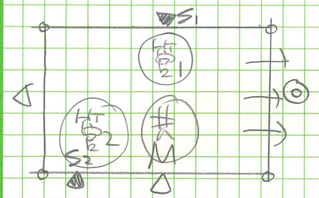
← これなら縦かな。

他 ダンスが180㎡無すぎ。 10分

ES01 コンセプト
・h29コンセプトルームのような?提案か? ⑤
4. 留意事項
・EV B1F-3F 利用者1名? ⑥

ES02 図面
Ⓐ 2点鎖線
Ⓑ 凡例作成 Ⓣ Ⓑ
Ⓒ 地下P?
Ⓓ 断一 エントランス+プールをもつる
Ⓔ Ⓐに同じく。

ES03 敷地



建ぺい80%OK

ES04 建築物
3F+B1F

2000 } 2200
2400

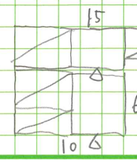
面積算入条件は、建29版

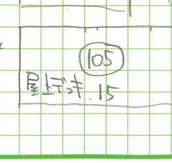
6×9		7×7	
47	52	41	45
57		48	

小数点 なぜ?

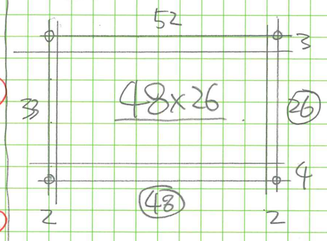
精上図略

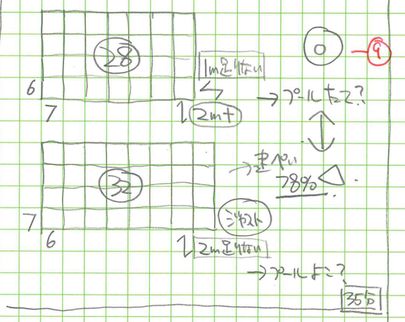
ES05 屋外
P 地下P!!!
HCP 1
SP 1





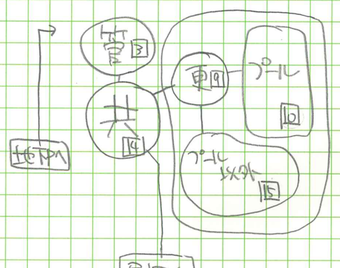
ES06 最大建築面積





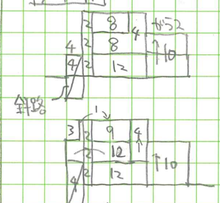
→プールなこと?
→建ぺい78%
→プールよこと?
365㎡

ES08

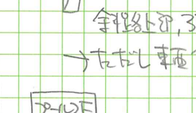


精上図Ⅱ

プール1F



8
12
24 } 44 ×



9
16
24 } 49 → △

斜路上部, 3Fデッキで Max 53㎡
→ただし東面1mとれないのでギリ△

プール2F

9
22
24 } 55 → ○

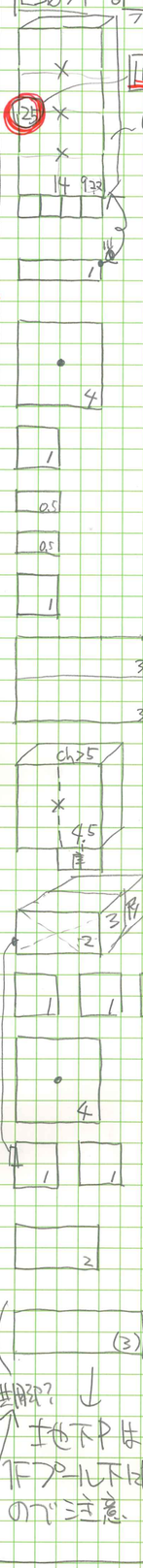
→プール2Fなら Vol OK.

75分

ES09 まとめ/方針
1 プール1F 更衣1Fまとめる 2 プール2F 更衣わける。 3 プール1F 更衣わける

共解? ↓
地下Pは1Fプール下には作れない! のでご注意。

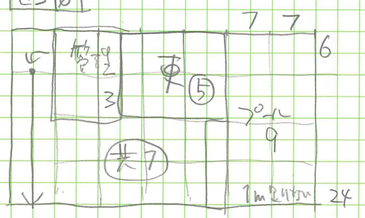
ES07

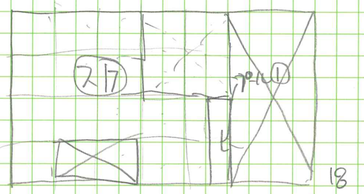


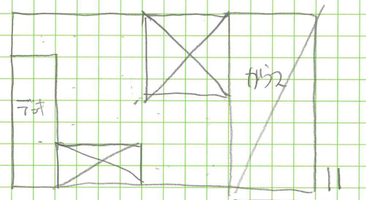
プール室
採暖(男女) 監視室, 備品庫
組整G ⑩ → 10
トレーニングジム室
セコナー室
講師控室
健康相談室
休けいラウンジ ⑪.5 → 15
わける/わけない
更衣室 ⑦ → 9
ダンススタジオ
エントランスホール
便所
レストラン ⑪ → 14
事務室 HK+ゴミ保管庫 ② → 13
コンセプトルーム
斜路

足算
41.5 プールのぞく 31.5
1.25 1.33
52 51 42
これでいく。

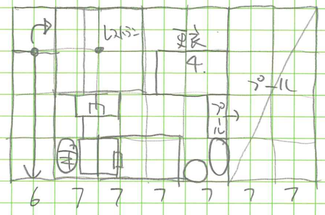
ES10

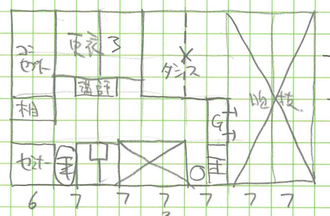


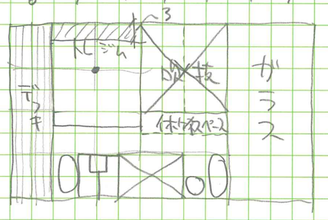




なんばスタジアム ヒーロー 計 53㎡





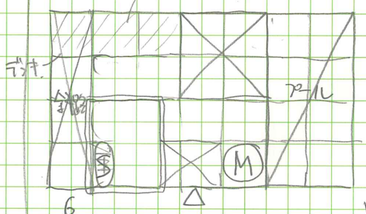


53㎡

53×42−24=2202
南2列目 2m upすると (42+34+28)×2+2202=2410
オーバーするので トレーニングジム北側をバルコニーに。
14×3=42 2410−42=2360<2400 ※

115分

ES11 地下P平面



これでいく!

総評

95分

① 地下Pとコア
② プール室スパンコントロール
③ 更衣室一体/分離
④ 面積シビア

このあたりがポイントになったかと思います。
また要点, 断面図地階がヘビーな課題となっています。※

サポートサイト: http://seizushiken.com/h30syng6/

サポートサイト http://seizushiken.com/h30syng6/

面積表(算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)				製図試験.com 答案用紙Ⅰ	エスキース 分	提出 /	添削 /
建築面積		(算定式)	㎡	所感	要点 分	枚数	課題No. Syng.
建ぺい率		(算定式)	%		作図 分		
床面積	階	(算定式)	合計		ID Z3000		
	階	(算定式)					
	階	(算定式)	㎡		ハンドルネーム zone		

平成30年度一級建築士設計図試験　答案用紙Ⅱ

建築計画・構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)周辺環境に対して配慮した点

南側道路に対して、エントランスホール入口をできるだけ中央に寄せ、利用者のわかりやすさに配慮した。
ガラスのファサードで開放的なプール室は公園側に向け、公園との視覚的連続性に配慮した。
北側道路に面して管理者入口を設け、利用者とのアプローチの分離を図った。

(2)更衣室の計画で、その配置と利用者の利便性について配慮したこと

更衣室はプール専用の更衣室と2-3階用の更衣室に分けることで利用者の利便性に配慮した。
プール用の更衣室は車いす利用者も一緒に使えるように対応し、2-3階スポーツ部門用更衣室は、車いす用
更衣室を別途設けた。

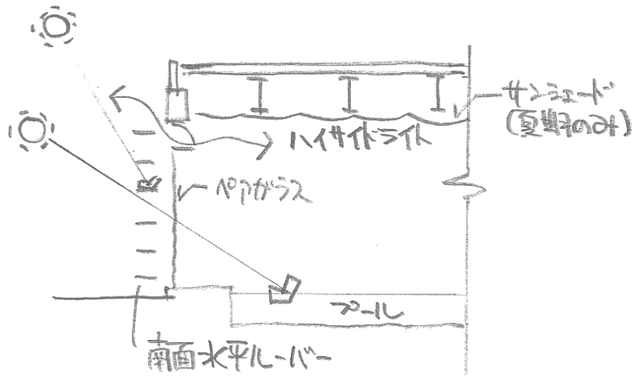
(3)様々な年齢階層や身体障害者等の利用促進のためにコンセプトルームで提案したこと

用途:　子ども一時預かり室＋幼児用プレイルーム　　主な利用対象者:乳幼児及びその保護者
提案内容と必要什器類:乳幼児を抱えつつスポーツを楽しみたい保護者のために乳幼児を一時預けられる室を
計画した。プレイルーム、一時預かり室、授乳室、ボランティアスタッフルーム、子供用便所をイメージした。
設置階とその理由:本来は1階に設けたいが、常時利用される室ではないため、3階のスペースを設定した。
また、季節がよいときは屋上デッキで遊べることにも配慮した。

(4)プール室の省エネルギーについて、パッシブデザインとして配慮した点(3点以上)

コンセプトとして、冬期のヒーティングを中心にパッシブデザインについて配慮し下記4点を採用した。
南側には水平ルーバー、東側には垂直ルーバーを設置し、採光しつつ、日射遮蔽及び取り入れできるよう
配慮した。プール室と季節が合う時期は、ハイサイドライトを利用して自然通風に努めた。断熱に配慮し、
ガラス面はペアガラスとした。夏期日射対策としてガラス屋根下にサンシェードを設けた。

＜図示＞図示必須



(5)建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割り等を採用した理由及び主要な部材寸法

構造種別は建築物の耐久性、静音性等から鉄筋コンクリートとし、靭性に富み、平面計画に自由度の高いラーメン
構造とした。スパン割は、経済性及び施工性に配慮し6mx7m(一部5mx7m)スパンを採用した。

大梁:500x800　　柱　:　800x800
小梁:300x500

(6)プール室の構造において特に配慮したこと

プール上部の架構は無柱空間かつガラス屋根とするため、鉄骨トラス採用し、その上にガラス屋根を組んだ。柱は
他の柱より配筋量を増やした。プール下部にラーメン架構を設け、小梁はスラブを3等分し400×700と配置することで、
他の柱プールの重量を安全に支持する計画とした。(特定天井ではないので特定天井特記は書かないこと)

(7)採用したそれぞれの室の換気方式(第1種、第2種、第3種)とその採用理由

屋内プール室	第1種　単一ダクト方式による給気及び還気
空調しつつ、負圧にする必要があり、単一ダクト方式による給気をしつつ、還気量を増やすことで負圧とした。	

ダンススタジオ	第1種:全熱交換器
排気による熱損失を小さくするため、全熱交換器による第1種換気とした。	

更衣室	第3種:換気扇
体臭やほこりが発生しやすい室であるため、負圧にして第3種換気を行うものとした。	

(8)プールのろ過機械室において配慮したこと

オーバーフロー水を集めてろ過するため、プール面よりも低い位置で集水できるよう配慮した。
またろ過後はプールに戻すことを考え、プールとろ過室との距離は最短になるよう、地下1階機械室内にろ過機械室を
設けた。ろ過中に水温が下がるため、温水を使った熱交換により再加熱を行う仕様とした。

(9)本施設の設計を通じて、防災計画上配慮したこと

避難時に階段や出口が迷わないように共用部形状に配慮した。
建築物内に設けられた2つの階段はほぼ隣接しているが、二方向避難距離を確認して計画した。
南側吹抜は3層であるため、面積区画とも兼用できる特定防火設備の防火防煙シャッターを採用し安全性を確保した。

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。